

ホームページへの掲載		
済	1月31日	掲載

岐阜県立大垣養老高等学校

学校長 渡邊 千洋

学校住所 養老郡養老町祖父江向野1418-4 電話 0584-32-3161

- 1 会議の名称 平成28年度 大垣養老高等学校 第2回学校評議員会
- 2 会議の構成
- | | | |
|--------|-------|--------------------------------|
| 委員 | 伊藤 勝代 | 岐阜県女性農業経営アドバイザー |
| | 西脇 昭夫 | 養老郡少年補導員 |
| | 西脇 正博 | 特別養護老人ホーム白鶴荘施設長 |
| | 無藤 浩美 | 元本校PTA役員 |
| | 安江 和仁 | 大垣共立銀行支店部情報渉外課課長
(委員名は五十音順) |
| オブザーバー | 林 新太郎 | 同窓会長 |
| | 長屋 道幸 | PTA会長 |
| 学校側 | 渡邊 千洋 | 校長 |
| | 森田 英明 | 教頭 |
| | 谷 基 | 教頭 |
| | 水谷 礼子 | 事務部長 |
| | 辻 浩幸 | 教諭(教務主任) |
| | 野田美奈子 | 教諭(生徒指導主事) |
| | 田中 賢 | 教諭(進路指導主事) |
| | 高橋 百合 | 教諭(総合学科主任) |
| | 箕浦 誠 | 教諭(農場長) |
| | 中野 輝良 | 教諭(寮務主任) |
- 3 会議の目的 大垣養老高校について地域を代表する方々から学校運営・改善のための意見をいただき、地域からの支援・協力のもと、地域に根ざし、特色と活力のある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 平成29年 1月24日(月) 13:30~15:30
岐阜県立大垣養老高等学校 会議室
委員4名(欠席1名)、オブザーバー2名、学校側8名が出席
- 5 会議の概要
- 生徒発表 海外体験研修報告
 - 総合学科 商業クラブ、生活福祉系列
 - 農業科 瓢箪倶楽部秀吉
 - 生産科学科
 - 食品科学科
 - 環境園芸科
- } ポスター発表
- 学校関係者評価委員会(学校自己評価)
 - 意見交換

(1) 生徒発表の感想等

- 意見1 国際社会において、高校時代から海外の文化に触れることは、非常に有益である。このような活動は、人間形成にも大きく寄与しているものと思う。
- 意見2 様々な工夫により地域の課題を克服していく姿がすばらしい。ターゲットを絞った取組は、商業の基本として他にも役立つと思う。
- 意見3 社会的ニーズの高い福祉、保育分野において、将来活躍されることを期待している。
- 意見4 瓢箪倶楽部秀吉の取組は、広域、6次産業化、官との連携など非常に高度で多岐にわたり、今後の展開に期待している。
- 意見5 瓢箪倶楽部秀吉の取組は、町から始まり、県、国そして東京オリンピックに向けて実績を作ろうと努力しており、大変すばらしい。
- 意見6 段階を追って課題を解決し、発展させていく研究手法は、非常に良い。地域に根ざし、地域と連携した取組を、今後も応援していきたい。

(2) 本校の自己評価、学校関係者評価について

- 意見1 特色ある学校づくりを進めていることがよく分かる。研究成果を発表する生徒には活力があり、地域の即戦力となる人材育成にさらに努めていただきたい。
- 意見2 生徒は真摯に高校生活を送っており、より高みを目指した先生方の指導が伺える。
- 意見3 生徒が将来の夢を実現し、自立できるよう教育されていることがアンケート結果に表れている。
- 意見4 教室のクーラー設置については、引き続き検討をしてほしい。大垣市内の中学校には、すべて設置されている。
- 意見5 市役所ロビーの花飾りや、MSリーダーズのボランティア活動など、地域では皆感謝している。

6 会議のまとめ

今年度の学校運営に関する取組については、今後の指針となるご意見を、また、学習成果を発表した生徒には、励みになるお言葉をいただくことができた。特に生徒にとっては、自らの取組を外部の方から直接評価していただく貴重な機会となった。

今後は、農業科と総合学科併置のメリットを最大限生かし、それぞれが切磋琢磨し高め合う取組、それぞれが学び合う共同の取組など創意工夫を凝らし、さらに魅力ある学校となるよう教育内容の充実を図っていきたい。